



学生ボランティア団体「ブラウンライスボランティア」が ウクライナ緊急募金を実施します

武庫川女子大学の学生による「ブラウンライスボランティア」が、ウクライナの緊急支援をしている国連 WFP の呼びかけにこたえ、4月12日から学内と最寄り駅の阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」駅周辺で、食糧支援のための募金活動を行います。集まった募金は国連 WFP を通して、ウクライナと近隣諸国で、紛争から逃れてきた人たちへの食糧支援に充てられます。

国連 WFP は、ウクライナやその近隣諸国で多くの市民が食糧と飲料水の不足に苦しんでいる現状に対し、3か月で310万人を支援する緊急支援活動に乗り出しました。この活動には約660億円が必要とみられ、広く寄付を呼び掛けています。

武庫川女子大学の「ブラウンライスボランティア」は世界食糧計画（国連 WFP）の「学校給食プログラム」を支援する本学の公認ボランティア団体です。毎月1週間、大学のキャンパスと附属中高の食堂で玄米を使ったオリジナルメニューを提供。売り上げの10%と寄付金などを認定 NPO 法人「国連 WFP 協会」を通して国連 WFP に送っています。2010年5月に始まったこの活動がきっかけで、2018年5月、本学は大学として初めて「国連 WFP 協会」と連携協力協定に至りました。

今回、国連 WFP 協会からの支援の呼びかけを受け、学生たちが「何か力になりたい」と募金を申し出ました。

中央キャンパスの各所に募金箱を設置し、学生が募金の呼びかけをします。また、最寄り駅である阪神電車「鳴尾・武庫川女子大前」駅前の広場などで募金を呼びかけます。

募金呼びかけは4月12日（火）～4月14日（木）

募金箱設置は4月12日（火）～4月28日（木）

この件についてのお問い合わせは

武庫川女子大学広報室（TEL：0798-45-3533）までお願いします

ブラウンライスボランティアの詳細内容は武庫川女子大学公式ホームページのブラウンライスボランティアのページ（下記）からご覧ください



【ブラウンライスボランティア】

2009年8月、当時の皇太子殿下が本学を行啓し、大河原量学院長と懇談された際、皇太子殿下が留学先のイギリス・オックスフォード大学で出会われた「ブラウンライスウィーク」が話題にのぼりました。玄米を使ったメニューを食べて、食費の差額を寄付して世界の食糧支援につなげようという活動に感銘を受けた大河原学院長が、「本学でもこの活動に取り組もう」と学生たちに呼びかけました。2010年5月から月1週間の「ブラウンライスウィーク」がスタート。現在まで続いています。ブラウンライスボランティアはブラウンライスウィークのPRやメニュー考案、募金の呼びかけなどを行って、この活動を支えています。2014年からはブラウンライスボランティアのメンバーや有志学生が兵庫県丹波市で田植えや稲刈りを体験。収穫した玄米を文化祭などで販売しています。